

1-1 子育て支援の充実

事業費 64億 78万円

財 源	国のお金	24億1,471万円	施 策 実 現 の た め の 費 	子どものための教育・保育給付費	28億7,324万円
	県のお金	13億4,144万円		児童手当給付費	9億5,478万円
	市の借金	2,660万円		福祉医療費	7億5,386万円
	その他	1億4,109万円		児童扶養手当給付費	3億4,900万円
	市のお金	24億7,694万円		その他	14億6,990万円

すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっていることを目指します

主な事業

◆若者出会い・結婚生活応援事業 (3,180万円)

【若者交流促進事業】

男女の出会いを創出する出会いイベントや若者が気軽に参加できる若者交流イベントの開催に要する経費を助成します。

【結婚新生活支援事業】

夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下で、一定の所得要件を満たす新たに婚姻した夫婦を対象に、婚姻に伴う引っ越し費用や住宅賃借費用などを助成します。

【若者出会い応援事業】

市指定の婚活マッチングアプリの利用料や男女の交際に要する費用の一部を助成します。また、あきた結婚支援センターに入会する際の入会登録料を負担します。



◆福祉医療給付費 (7億3,465万円)

乳幼児、小中学生等及び高校生世代の医療費の自己負担分を助成します。

◆産後ファミリー応援事業 (1,155万円)

出産後から子が1歳に到達する日までに家事代行を利用した費用を助成します。

◆医療的ケア児保育支援事業 (1,341万円)

教育・保育施設に対し、医療的ケアを必要とする児童の受入体制整備の費用の一部を助成します。

◆多子世帯応援事業 (1,100万円)

第3子以降の子がいる世帯の第2子以降および多胎児の保育料を全額助成します。

◆学童保育施設環境整備事業 (建設) (9,997万円)

放課後や週末、夏休みなどの長期休業日にお子さんが安心して生活できる居場所を作る事業です。

◆不妊治療費助成事業 (1,087万円)

不妊治療・不育症治療費用を助成し、不妊に悩む夫婦の経済的・精神的負担の軽減を図ります。

◆小児予防接種電子化事業 (257万円)

小児予防接種のデジタル化を推進し、簡単に記入・提出ができる電子予診票により保護者の負担軽減と利便性向上を図ります。



母子手帳アプリ「母子モ」

1-2 健康な心と体づくりの推進

事業費 39億 1,317万円

財源	国のお金	1億 241万円	施策実現のための事業費	後期高齢者医療制度費	15億1,329万円
	県のお金	5億7,943万円		病院事業費	8億2,835万円
	市の借金			国民健康保険特別会計繰出金	7億9,785万円
	その他	1億7,555万円		予防接種事業	2億4,369万円
	市のお金	30億5,578万円		その他	5億2,999万円

市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えていることを目指します

主な事業

◆保健衛生総務管理費 (1,679万円)

がん患者の医療用補正具購入費の一部を助成するほか、18歳以上で身体障害者手帳の交付対象にならない軽度・中等程度難聴者の補聴器購入費の一部を助成します。

◆予防接種総務費 (2億4,369万円)

予防接種法に基づく定期予防接種を行い、感染、発病、重症化、感染症蔓延の防止を図ります。

◆がん検診事業 (1億4,727万円)

各種がん検診事業を実施し、早期発見、早期治療に結び付け、疾病の予防を図ります。



1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進 事業費 28億 5,691万円

財源	国のお金	9,552万円	施策実現のための事業費	介護保険特別会計繰出金	19億8,482万円
	県のお金	5,749万円		市営介護サービス事業特別会計繰出金	4億 310万円
	市の借金			高齢者福祉施設入所措置費	2億9,359万円
	その他	5,513万円		日常生活支援事業	6,394万円
	市のお金	26億4,877万円		その他	1億1,146万円

横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深め、ともに支えあい、助けあう地域社会が形成されていることを目指します

主な事業

◆交通助成券交付事業 (2,040万円)

自家用車を持たない75歳以上の高齢者に、市内の交通機関で利用出来る交通助成券を交付します。

◆見守り安心事業 (518万円)

ひとり暮らし高齢者等の見守りのために、自宅トイレに通信機能付きの電球を設置し、一定の時間、点灯・消灯が確認出来ない場合、緊急連絡先に通報、必要に応じて自宅を訪問し状況を確認します。

1-4 障がい者(児)福祉の充実

事業費 27億2,380万円

財 源	国のお金	13億4,509万円	施 策 実 現 の た め の 費	自立支援給付費	24億6,391万円
	県のお金	6億5,605万円		自立支援医療費給付事業	7,672万円
	市の借金			特別障がい者手当等給付事業	6,500万円
	その他	15万円		地域生活支援事業費	7,353万円
	市のお金	7億2,251万円		その他	4,464万円

障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしていることを目指します

主な事業

◆地域生活支援事業費 (7,353万円)

障がいのある方が自立した日常生活や社会参加ができるよう、利用者の状況に応じた柔軟なサービスの提供や障がいへの理解啓発、ボランティア活動の支援を行います。

◆自立支援医療費給付事業 (7,672万円)

身体障害者手帳の交付を受けた18歳以上の方や、身体に障がいをもつ18歳未満の児童で、手術等の治療を受けることにより身体の障がい除去・軽減され、日常生活が容易にできるよう医療費の一部を公費により負担します。

1-5 低所得者福祉の充実

事業費 12億1,277万円

財 源	国のお金	8億2,491万円	施 策 実 現 の た め の 費	一般扶助費	10億1,200万円
	県のお金	1,000万円		公営住宅管理費	1億152万円
	市の借金			施設事務費	4,178万円
	その他	9,475万円		生活困窮者自立支援事業	3,004万円
	市のお金	2億8,311万円		その他	2,743万円

住宅の確保が困難になるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、すべての市民が自立した生活を確立して、いきいきと暮らすことができていることを目指します

主な事業

◆生活困窮者自立促進支援事業 (3,004万円)

生活困窮者の社会的・経済的な自立に向けて、就労支援や住居確保給付金支給など様々なサービスを包括的に提供します。

1-6 福祉を支える人材の確保と育成

事業費 1億6,882万円

財 源	国のお金		施 策 実 現 の た め の 費	総務関係費	2,871万円
	県のお金	2,040万円		民生委員児童委員費	3,397万円
	市の借金			長寿祝金支給事業	637万円
	その他	42万円		地域福祉推進事業	9,000万円
	市のお金	1億4,800万円		その他	977万円

地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増え、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われていることを目指します

主な事業

◆地域福祉推進事業 (9,000万円)

誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して、様々な地域福祉活動を推進します。

横手市社会福祉協議会が進める地域福祉活動

地域福祉活動推進事業、ボランティア活動推進事業、生活相談事業、社協活動啓発事業、福祉団体支援事業、福祉のまちづくり事業、福祉教育活動推進事業、共同募金運動啓発事業、障害者地域生活支援事業、生活福祉資金貸付事務事業、福祉サービス利用援助事業

2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 事業費 3億 6,051万円

財源	国のお金	543万円	施策実現のための事業費	学校生活サポート事業	1億1,083万円
	県のお金	312万円		外国語教育・国際理解教育推進事業	5,354万円
	市の借金			学校保健管理事業	4,025万円
	その他	2,630万円		小学校指導要領改訂経費	3,552万円
	市のお金	3億2,566万円		その他	1億2,037万円

ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長していることを目指します

主な事業

◆外国語指導助手招へい事業 (5,354万円)

11名の外国語指導助手(A L T)を小・中学校に派遣し、児童生徒の英語によるコミュニケーション意欲を高めます。また、A L Tとの関わりを通して、異文化理解を深め、多様な人々と共生できる児童生徒の育成を推進します。

◆教育相談・不登校適応指導教室事業 (1,155万円)

不登校適応指導教室として、醍醐地区交流センター内に「南かがやき教室」、大雄農業団地センター内に「西かがやき教室」を設置し、教育相談員、専門指導員が勤務しています。電話相談やカウンセリングを通して、児童生徒や保護者の不安や心配事を聞き取り、学校及び関係諸機関と連携しながら、個々の状況に応じた関わりや働きかけをします。

◆「横手を学ぶ郷土学」推進事業 (532万円)

横手市の歴史・伝統・文化を象徴する市内の民俗行事について、デジタル映像作成を行い、行事の記録保存を行います。作成した映像は、市内小中学校の社会科学習や総合学習等で使用します。

2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備

事業費 26億 8,811万円

財源	国のお金	1,195万円	施策実現のための事業費	小学校長寿命化対策事業	10億 478万円
	県のお金	550万円		小学校管理費	3億1,115万円
	市の借金	9億9,620万円		学校給食事業	4億4,582万円
	その他	3億1,858万円		スクールバス運行事業	2億3,918万円
	市のお金	13億5,588万円		その他	6億8,718万円

児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されていることを目指します

主な事業

◆小中学校 ICT環境整備事業 (建設) (2,758万円)

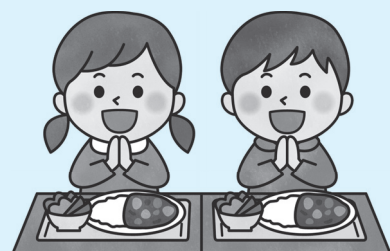
市立小中学校で使用する大型提示装置の購入やネットワーク回線の増強などにより、学習環境の充実を図ります。

◆小学校長寿命化対策事業 (10億 478万円)

児童が安全・安心な環境で教育を受けられるように施設環境の充実を図るため朝倉小学校、吉田小学校、醍醐小学校の改修工事を行います。

◆学校給食事業

第3子以降の児童生徒の半年分の学校給食費無償化を実施します。



2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進 事業費 13億7,986万円

財源	国のお金		事業費 施策実現のための	屋外体育施設費	11億8,473万円
	県のお金			屋内体育施設費	9,655万円
	市の借金	10億4,750万円		体育施設総務費	6,605万円
	その他	1,257万円		スポーツ振興総務費	854万円
	市のお金	3億1,979万円		その他	2,399万円

市民一人ひとりがスポーツを通して、心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送ることを目指します

主な事業

◆屋外体育施設費(10億4,354万円)

【天下森スキー場整備事業】

横手市唯一のスキー場として、天下森スキー場の整備を行い、利用者の利便性向上と冬期間の運動促進を図りつつ、年間を通じて誰もが利用可能なレジャー空間を創出します。

【赤坂総合公園・十五野公園・大森野球場・大雄運動公園施設整備事業】

令和7年度に予定されている天皇賜杯全日本軟式野球大会開催に向け、各球場の老朽箇所、不具合箇所を改修し整備します。

【十文字陸上競技場整備事業】

市内外多くの陸上愛好者に利用されている秋田県南唯一の第3種公認陸上競技場として、ルール改正及び公認更新に伴う施設改修整備を行います。



改修予定の十文字陸上競技場

2-4 心を豊かにする生涯学習の推進 事業費 4億1,390万円

財源	国のお金	750万円	事業費 施策実現のための	増田まんが美術館費	1億1,109万円
	県のお金	237万円		図書館費	1億4,190万円
	市の借金			芸術文化施設費	3,847万円
	その他	887万円		生涯学習館費	8,936万円
	市のお金	3億9,516万円		その他	3,308万円

多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができ、また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいることを目指します

主な事業

◆生涯学習館費(8,936万円)

令和6年9月のオープンを予定している横手市生涯学習館Ao-na(あおーな)において、多くの方に愛され親しまれる施設となるよう、開館記念イベントをはじめ、「生涯学習機能」と「図書館機能」を融合させたソフト事業を実施します。また、適切な施設の維持管理を行い、快適で安心な施設運営を行います。

◆横手図書館費(7,478万円)

横手図書館は、横手市生涯学習館Ao-na(あおーな)内への移転に向け、図書や備品の購入、図書の引越しなどを行います。

◆増田まんが美術館費(1億1,109万円)

横手市増田まんが美術館を中心に、マンガを活用したまちづくり事業を展開します。また、マンガの魅力を活用した豊かな学びの機会を提供し、地域への愛着や誇りの醸成を図ります。

2-5 よこての伝統文化の継承と再発見

事業費 1億 5,281万円

財源	国のお金	1,568万円	事業費 の実現 のため の	埋蔵文化財発掘調査事業	5,187万円
	県のお金	3,746万円		歴史まちづくり事業	3,052万円
	市の借金			文化財保護総務費	2,112万円
	その他	48万円		資料館費	2,610万円
	市のお金	9,919万円		その他	2,320万円

市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りを持って暮らしていることを目指します

主な事業

◆重要伝統的建造物群保存事業 (1,770万円)

保存地区において、伝統的建造物等の修理・修景事業を実施します。また、保存団体や伝統的建造物公開活用への支援のほか、町並み継承のための修理修景相談会や修理技術者講習会などを実施します。

◆歴史的風致維持向上計画推進事業 (1,000万円)

歴史文化を活かしたまちづくりを推進するため、登録有形文化財の羽黒町の旧片野家住宅において、季節に応じた一般開放や高校生ワークショップの開催を通して周知活動と活用検討を実施します。また、歴史イベントやまちあるきの実施により、横手城下をはじめとしたまちなか回遊を促進します。

01 ピックアップ

生涯学習館費 Ao-na(あおな)のオープン

横手駅東口に令和6年9月、「横手市生涯学習館 Ao-na (あおな)」がオープンします。オープンにあわせ、セレモニーを実施するほか、記念イベントを開催します。開館後は、「生涯学習機能」と「図書会館機能」を融合させ、市民の豊かな学びを多面的にサポートする様々なイベントを展開していきます。



【1階ティーンズエリア】



Ao-naの1階には、どなたでもくつろげる「ラウンジ」、軽運動ができる「アクティブエリア」、100人規模の講演会や研修会等の開催が可能な「スタジオ」、中高生を主体とした10代専用の「ティーンズエリア」など、多様な交流スペースが整備されます。

【3階児童図書フロアにある「おはなしのへや」】



2階、3階は「横手図書館エリア」。2階は一般図書フロア、3階は児童図書フロアとなり、施設全体で18万7千冊の図書が収納可能となります。

3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 事業費 8,127万円

財源	国のお金	1,038万円	施策実現のための事業費	特定空家等対策事業	2,598万円
	県のお金	13万円		交通安全対策事業	2,099万円
	市の借金			市民相談事業	1,092万円
	その他	30万円		交通安全施設整備費	1,853万円
	市のお金	7,046万円		その他	485万円

事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送り、必要な時には専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができることを目指します

主な事業

◆特定空家等対策事業 (2,598万円)

空家等の予防・適正管理・利活用を推進するため、解体撤去の支援を行う等、総合的な対策を実施します。また、保安上危険な空家等や周囲に悪影響を及ぼす空家等のほか、将来的に周囲に被害を及ぼすおそれがある空家等についても対策を拡充して実施します。

3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全 事業費 6億 530万円

財源	国のお金	1,781万円	施策実現のための事業費	斎場施設費	8,760万円
	県のお金	4,592万円		衛生センター費	2億6,747万円
	市の借金	1億4,450万円		水と緑の森づくり事業	3,392万円
	その他	2,845万円		斎場施設整備事業	1億4,462万円
	市のお金	3億6,862万円		その他	7,169万円

水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息し、まちの美観は損なわれることなく、豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できることを目指します

主な事業

◆西部斎場整備事業 (建設) (1億4,462万円)

旧西部斎場を解体撤去し、その跡地に駐車場の造成及び外構工事を実施します。

◆有害鳥獣対策事業 (895万円)

有害鳥獣の捕獲や出没対応など、鳥獣被害対策実施隊による被害防止活動を行います。

また、害獣による農作物等被害防止のための電気柵の設置、クマを誘引する恐れのある栗や柿などの木の伐採に係る経費、鳥獣被害対策実施隊員を育成し確保するため狩猟免許等の新規取得や散弾銃等購入に係る経費について支援します。

◆緩衝帯等整備事業 (建設) (2,061万円)

クマ等の野生動物との棲み分けを図り出没を抑制するため、やぶ払いによる森林整備を行います。



出没したクマ (センサーカメラによる撮影)

3-3 災害に強いまちづくりの推進

事業費 11億 5,336万円

財 源	国のお金	1,981万円	施 策 実 現 の た め の 費	常備消防経費	1億4,857万円
	県のお金	2万円		常備消防施設等整備事業	6億5,703万円
	市の借金	6億3,240万円		非常備消防経費	1億3,705万円
	その他	430万円		消防施設整備事業	1億3,241万円
	市のお金	4億9,683万円		その他	7,830万円

消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいることを目指します

主な事業

◆常備消防経費 (1億4,857万円)

消防業務を円滑に推進できる体制確保のため、消防車両、資機材並びに各施設の適切な保守管理と装備品の貸与を行うとともに、消防学校等における研修や救急救命士の養成等を通じて、組織の充実と活性化を図ります。

◆常備消防施設等整備事業 (6億5,703万円)

119番通報の受付から出動指令、災害現場との情報共有などを迅速、的確に行う消防指令システム、消防救急デジタル無線システムの更新や消防車両などの整備を行い、消防力の充実強化を図ります。

◆消防施設整備事業 (建設) (1億3,241万円)

災害時の被害を最小化するため、消防水利の設置、消防団の小型ポンプ、軽積載車等を配備し、市民の生命や財産を保護します。

3-4 循環型社会の一層の推進

事業費 12億 2,853万円

財 源	国のお金	1,232万円	施 策 実 現 の た め の 費	ごみ収集費	4億1,393万円
	県のお金			クリーンプラザよこて費	4億9,003万円
	市の借金	2,210万円		最終処分場管理運営費	1億9,639万円
	その他	3億 843万円		地域資源循環施設費	6,168万円
	市のお金	8億8,568万円		その他	6,650万円

市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現していることを目指します

主な事業

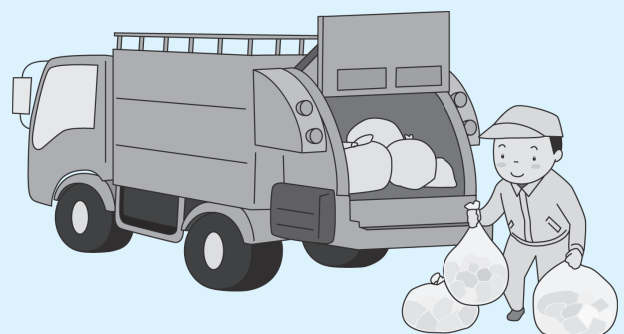
◆ごみ収集費 (4億1,393万円)

家庭からごみ集積所に出されたごみの収集経費や指定ごみ袋作成・販売・配送等に関する経費です。

◆クリーンプラザよこて費 (4億9,003万円)

施設の運営維持管理や周辺環境調査などクリーンプラザよこての運営に関わる経費です。

安全で確実なごみの焼却を含む資源物の有効利用を図ります。また、ごみの焼却熱で発電した電気を場内で使用するほか、市立小中学校へも供給しています。



3-5 地球温暖化対策の推進

事業費 133万円

財源	国のお金		施策実現のための事業費	地球温暖化対策事業	108万円
	県のお金			カーボンオフセット地球温暖化対策事業	25万円
	市の借金				
	その他				
	市のお金	133万円			

地域にある再生可能エネルギーが公共施設、個人住宅、事業所等において有効活用されていることを目指します

主な事業

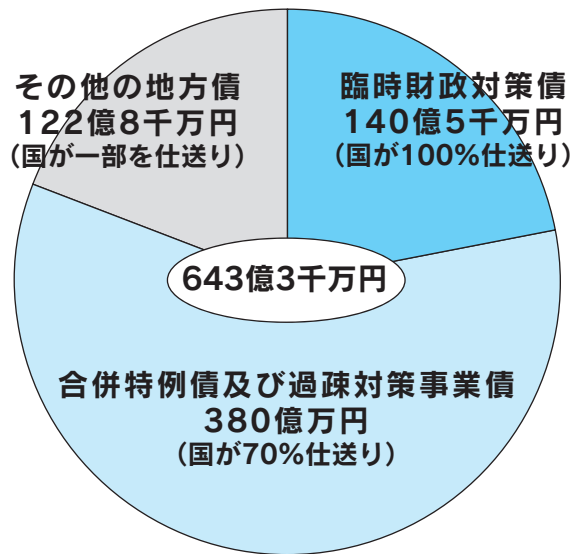
◆カーボンオフセット地球温暖化対策事業 (25万円)

地球温暖化対策としてカーボン・オフセットの普及を図ります。また、二酸化炭素を減らしたい企業などが二酸化炭素を吸収する森林整備費用の一部を負担する取り組みを推進し、横手の森林を守ります。

【コラム】横手市の貯金と借金について

- ◆一般会計における令和6年度末の貯金の残高（見込み）は約102億580万円です。横手市民ひとり当たりに換算すると、約12万4千円になります。
- ◆借金の残高（見込み）は令和6年度末で約643億2,690万円です。横手市民ひとり当たりに換算すると、約78万円になります。
- ◆借金の返済額のうち、国が一部を地方交付税※で仕送り（交付税措置※）してくれる仕組みとなっています。

横手市の地方債（借金）の残高の内訳



【用語解説】

※地方交付税…国が集めた税金（国税）を元に国が各地方公共団体に交付するお金。

※交付税措置…借金の返済にかかるお金が交付税の計算に加算され、借金の返済の足しになるという仕組みです。

地方債の償還金（借金の返済費用）がそのまま地方交付税として入金されるものではありませんが、市民の皆様に分かりやすくイメージしていただくために簡略化した表現を用いています。